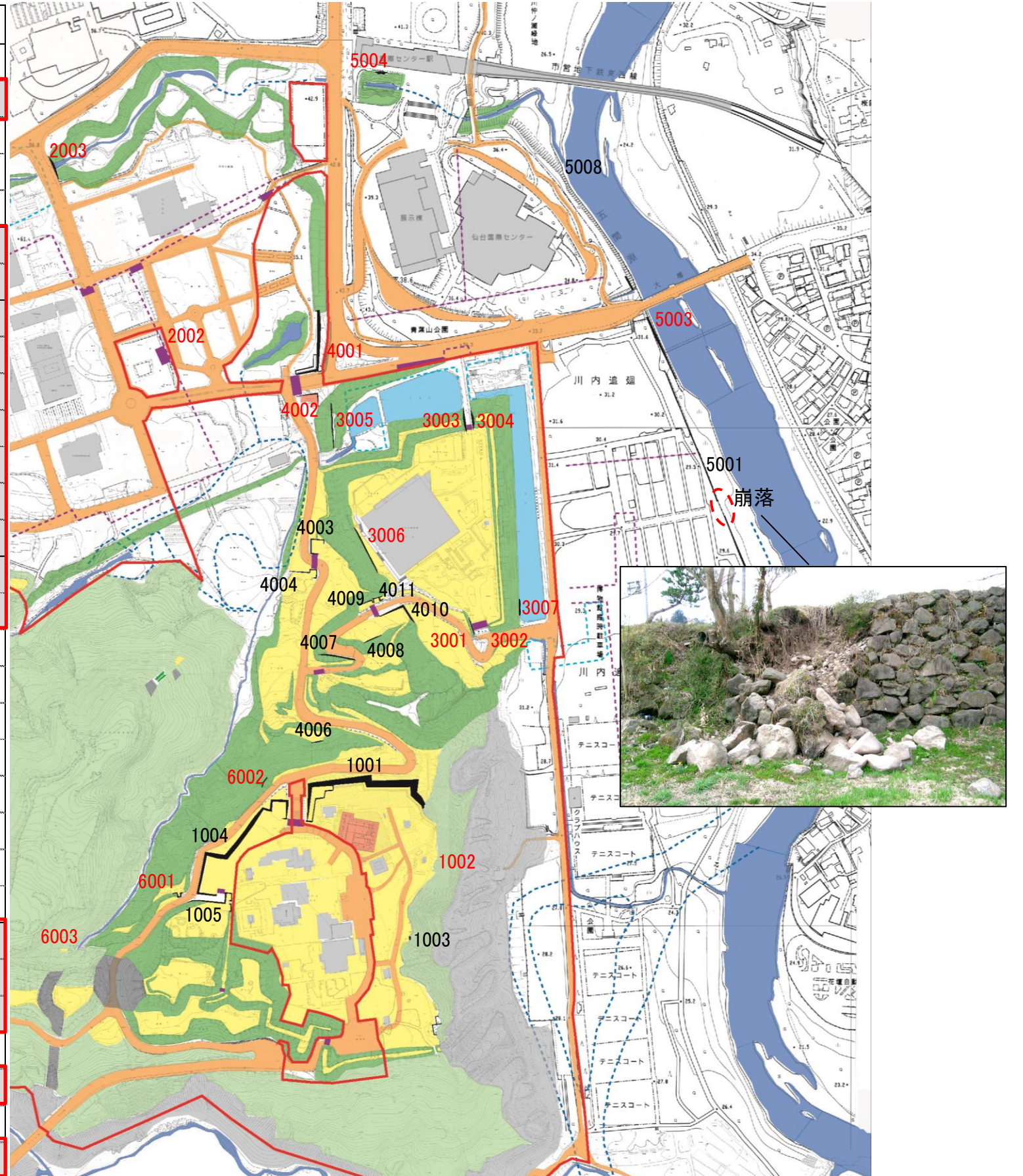


※1 表の網掛けは未測量の石垣、または一部のみ測量を行っている石垣である。

※2 赤字の石垣番号は未測量の石垣、または一部のみ測量を行っている石垣である。

地区名	石垣名	番号	現状	測量履歴	発掘調査歴	修復履歴 (昭和以降)	備考
本丸	北壁	1001		H9~16	S55、S57、H5、 H8、H9~16	H9~16	
	懸造跡	1002	埋没				
	御守殿跡	1003	一部崩落	● H23~28			崩落防止措置。
	本丸北西	1004		● H19、H20、 H23~28	H23~28	● S14~17、H23 ~28	
	西門	1005	未修復範囲に孕み	● H23~28	H23~28	● S14~17、H23 ~28	
二の丸	二の丸詰門付近	2002					
	千貫橋	2003	一部孕み・ズレ				
三の丸	巽門西側	3001		S59	S59		計測・図化範囲は一部。
	巽門東側	3002			S59、H17		
	子門西側	3003				S35、S58	
	子門東側	3004				S35、S58	
	大手門脇櫓下	3005					
	三の丸西側土手	3006			S58~59		
	長沼水堀	3007	水没				巽門付近。切石布積み。
登城路	大手門北側	4001	一部陥没	● H23~28	H23~28	● H23~28	計測・図化範囲は一部。
	大手門脇櫓	4002					
	中門北側	4003		● H17、H23~28	H23~28	● S52、H23~28	
	中門南側	4004		● H15~17、 H23~28	H15~17	● H15~17、 H23~28	
	下馬平場	4006		H16			
	沢門下	4007	せり出し、 石材抜け	H16			
	沢曲輪	4008		H16	H15~17		
	清水門北側	4009		H13			
	清水門南側	4010		● H13、H23~28	H15~17、H23~28	● S39、S53、H15 ~17、H23~28	
	清水門井戸	4011		H13			
	御裏林	貯水槽	6001	一部崩落・ せり出し			
本丸北西壁下		6002	せり出し、 石材抜け				
御清水		6003					
広瀬川 護岸他	広瀬川護岸1	5001	一部崩落	H15、H16、H17、 H21			
	広瀬川護岸3	5003					
	広瀬川護岸4	5008		H17			
	筋違橋東方	5004					



※1 番号は、先頭の数が城内での地区を表し、末尾の数が地区内での遺構や場所を表している。
 ※2 測量履歴は、石垣立面・平面のどちらかを測量している場合の履歴である。
 ※3 発掘調査歴は、上面および前面のいずれかの調査が行われている場合であり、試掘・確認調査が行われた場合も含めている。
 ※4 修復履歴は、明治から昭和にかけての修復状況がほとんど分かっていないため、昭和以降の修復履歴に限定した。
 ※5 表には主な石垣だけを掲載しており、仙台城跡の石垣すべてを掲載しているわけではない。
 ※6 測量・修復履歴の先頭に●が付く石垣は、東日本大震災後に測量・修復を行った場所である。